



THE ROTARY CLUB

OF YAMATO-NAKA

大和中ロータリークラブ会報

ROTARY BRINGS HOPE ロータリーは希望をもたらす

1986~'87 R.I 会長 M.A.T. カバラス

藤田会長 クラブターゲット

楽しく集う ロータリー

第429回 例会 62年 1月22日 第435号

出席報告

会員数	出席数	出席率	前回の修正
50名	43名	87.76%	97.96%

欠席者 (6名) 病欠者1名(富沢)
藤塚、布施、橋本、岩田、金井、三浦

本日のプログラム 1月29日

原田 穆君「職業奉仕に関するアンケートの結果」

次週予定 2月5日

クラブフォーラム「国際奉仕について」

司会 SAA 近藤富士男君

ソングリーダー 前原一男君「奉仕の理想」

ゲスト

前田東吉君、岩本 等君、高山 明君
薩田信次郎君(大和青年会議所)

ビジター

二階堂信也君(東京町田) 大田太郎君(相模原西)
松元文治君(横浜瀬谷)
山本壮兵衛君、南雲浩一郎君、館盛道明君(大和)
川上茂樹君、川島教男君、開保津昭彦君
屋代勝雄君、菅沼善治郎君(大和田園)

《会長報告》

○1/8 クラブ協議会で課題のポリオプラスの件
については地区よりテープ等の貸出しを受けク
ラブとしての方向を協議したいと思っています。

《幹事報告》

○半期決算書お持ちでない方受取って下さい。
○手続要覧申込みの方届いています。

○会員名簿の記載に変更がある方は事務局まで。
○後期の会費納入忘れなく。
大和青年会議所 前田理事長新年度役員紹介並び
に就任挨拶。

お祝

おめでとうございます!!

7年皆出席	石渡英二郎君	
お誕生日	鈴木久次郎君	(1月21日)
	長野俊八君	(1月21日)
	上田利久君	(1月23日)
御夫人誕生日	千田 徹君信子夫人	(1月20日)
	飯島順一郎君和子夫人	(1月21日)
	伊藤英夫君克枝夫人	(1月23日)
	上田利久君郁代夫人	(1月23日)
結婚記念日	藤田重成君	(1月21日)
	古木勝治君	(1月26日)

1. 真実かどうか

3. 好意と友情を深めるか

2. みんなに公平か

4. みんなのためになるかどうか

事務所：大和市中心1-5-40
大和商工会館内
☎0462-63-7926
例会場：大和南1-4-4
八千代信用金庫大和支店4階
☎0462-64-3654

例会日：毎週木曜日12時30分より
会長：藤田 重 成
会長エレクト：富 沢 重 徳
副会長：有 沢 昭 二
幹 事：土 屋 翁 三
会報委員：二 見・前 原・小 林

《スマイルボックス》 委員長 後藤定毅君

大和青年会議所 理事長前田東吉外一同

青年会議所運動のご協力の御礼と新任のご挨拶
にお伺い致しました。

二階堂信也君 初めてです、よろしく。

松本文治君 本日もお世話になります。

大田太郎君 久しぶりにお世話になります。

山本壮兵衛君 年明けはじめてお世話になります。

南雲浩一郎君 初春をお喜び申し上げます、今年
も宜しく願います。

館盛道明君 お世話になります。

屋代勝雄君 本日はお世話になります。

川上茂樹君 本日はよろしく願います。

開保津昭彦君 久しぶりにお世話になります。

川島教男君 寒い日々が続いてますが皆様風邪を
ひかぬようご注意下さい。本日は宜しく。

菅沼善次郎君 本日も宜しく願います。

石渡英二郎君 7年皆出席、入会記念お祝有難う
ございます、初心を忘れず頑張ります。

鈴木久次郎君 誕生日お祝有難うございます、54才に
なり本年は特に生まれて初めての事業を行います
のでよろしく願います。

長野俊八君 誕生日のお祝有難うございます。

上田利久君 イチニサンシー妻と私の二人の誕生
を祝って頂き感謝いたします。それぞれ勝手
な方向を向きながらそれでもころばないよう二
人三脚で頑張っていきたいと思っております。

アリガトウゴザイマシタ！

千田 徹君 忘れていた妻の誕生日を思い出しま
した。有難うございます。

飯島順一郎君 家内の誕生日を祝って載き有難う
ございます。

伊藤英夫君 家内の誕生日のお祝有難うございま
す。只今中年ブトリにてガンバっております。

ダキデがありますよ、後藤チャン。

古川 巖君 女房のお誕生日のお祝い頂きました、
気を使って頂いてありがとうございます。

藤田重成君 結婚のお祝有難うございます、伊勢
原より知らない土地南林間に参りまして40余年
間子供にも孫にもめぐまれ愛する人と一緒です
ので幸福せ一杯です（妻アサの一人ゴト）

古木勝治君 毎年ありがとうございます、お陰様
で忘れる事がなくロータリーに感謝します。

古川 巖君 あけましておめでとうでございます。
昨年以来初めて当クラブの出席です、本年もよ
ろしくお願い致します。

元親睦委員会 後藤定毅君 パスト会長の寺田・
長谷川・猪熊さん親睦委員会へのお手伝いご苦
労様でした。お三方の顔に伍光がさしてみえま
した。末だ仏様には早すぎますのでこれからも
若々しく頑張ってください。

神作 彰君 早退させていただきますので……。

《イニシエーション・スピーチ》

千田 徹君

今日はこのような機会を与えて下さり有難うご
ざいます。私は今、国際種子開発という名称で事
業をはじめましたが名前は仰仰しいのですが中味
はそれ程のものでもありません。何故この事業を
始めたかと申しますと、本来なら名称の中に保護
と調査を入れたかったのですが余りにも長くなり
ますので開発だけを入れました。

保護というのは昨今いわれている知的所有権の
保護という意味で、第二次産業革命型社会の到来
といわれる今日非常に重要な分野であると考えら
れるからです。第一次産業革命が筋肉労働からの
解放ということであるなら第二次は頭脳労働の解
放を指すもので今日の社会に到来しているのでは
ないかといわれています。今日脚光を浴びている
知的所有権は色々な分野がありますが、情報進化
の中では第4段階といわれているコンピュータの
発達を挙げることが出来ます、第1と第2段階は
生物の体内にありましたが第3と第4は生物の外
に出た訳でありまして、そこに衝撃が生じた訳で
す。第一次産業革命の結果科学の追求は善という

ことで核兵器や大気汚染というひずみが出ました。

第二次産業革命型の社会では多分全体のことを考える余裕が生じてくるもので、その中で情報の進化は生物に密接に関連があると思うし、生物の研究なしには今後第二次産業革命型社会の進展はあり得ないではないか、又その分野の遺伝子関連の知的所有権に事業として儲けのタネがあると着眼し始めた次第です。

遺伝子関連の中で具体的に知的所有権の保護とは何かを探してみた結果、私は日本大学の農学部に籍を置いてみたけど、昭和53年に種苗法という法律が制定されたことを知りました。今まではどんなに樹木・種の改良を重ねても特許権が与えられず関係の研究者や改良をなさった方もおります、よい例がブドウの「巨峰」という品種です、改良を重ねよいものがせっかく出来たのにすぐマネをされ自己の利益には結びつかなかったのです。そのようなことが防げればどうなるか、皆様の身近な例では鶏卵に示されています、卵は物価の優等生といわれ長年にわたり価格は安定しています。安定供給の基はニワトリの餌です、餌の中の大部分はトウモロコシですのでその生産コストが卵の価格に関連する訳です。トウモロコシの種というのは一代雑種で、純系の父親と純系の母親を掛け合せてのもので改良しています。一代交配ですからその種を掛け合せても良い種子は出来ません。この改良を進めますとその改良者（開発者）には莫大な利益が保証されます。ところがその種を購入して掛け合せて良い種子が出来るかという親の良い所だけを採っていますので、メンデルの法則で良い子・孫は出来ません。この性質を利用する方法がトウモロコシで盛んに行なわれ結果として鶏卵の安定供給に連なり社会全体にも又生産者消費者にも利益を与え、開発者の利益研究意欲の向上にも関連しています。ある程度の開発者の労苦に報いる制度が出来れば最っと皆様の生活は豊かになると思います。

種苗法では一代雑種として出来ない種子を保護しようとするもので一種の特許権保護になる分けですが、ただ種子の場合はいわゆる工業製品と違いまして自から増える性質のものでF1（一代雑種）は増やすことは出来ませんが先程述べたように純系のもをただ掛け合せて種子は販売するとすぐマネされます。それを禁止しようとするのが制定の目的で、研究用・自家採種を除き、ヨーロッパでは20年前米国では10年前と日本より早く法律が制定されていますが未だ日本ではその趣旨が定着するには時間を要するでしょう。登録は農水省ですがその先の運用が難しいのです、リース形式や所有権の売り渡し方法が考えられていますがいずれ特許権と同じ型態になろうかと思えます。しかしそっくり同じものにはなり得ないだろうと推測しまして商売としてのタネがあると思えました。私共は今三原山のある大島でキヌサヤエンドウの改良をしています。

調査・開発は密接な関係ですが、市場調査・環境保護・生態系の保存が叫ばれている今日関連の仕事はいろいろな遺伝子組み替え操作等未知の分野の問題が出てくると思われます。この結果が第二の核兵器に結びつくことのないように一市民として心掛けねばいけないと感じています、素人の常識というのがこれからは重要視されるべきと思えます、その為にも調査を重視しまして色々な資料が集まった中から常識の範囲内の有用な目標設定を行い、やみくもな開発をしても無意味でなからうかと思ひまして調査・開発も何とか商売に結びつけようとの希望でスタートしました。

私は昔、サボテンの接木をしていましたけど、その当時これまで述べたようなことを勉強していれば良かったなあとと思っていますけど、これからでも遅くはありませんので皆様のご指導を得ましてさらに研究をしたいと思っています。どうか今後宜しくお願いします。

《卓 話》

初期ロータリアンの横顔

上田利久君

皆さん今日は、こうして演壇に立つのも久しぶりのことでもあります。本日はイニシエーション・スピーチということですが、藤塚さんのお仕事の都合で急ぎょ私にマイクが廻って来ましたので1905年当時のロータリアンの横顔について眺めてみたいと思います。

話しを進める前に私事で恐縮に存じますが、9年前縁あってロータリーに入会させて頂いたわけですが、当時の私自身のロータリーへの認識だと思いますと、ほのかな憧れがございましてこれで一流企業人の仲間入りが出来たんだとの自負がなかったわけではありませんでした。ところがロータリーに参加し国際ロータリーが少し見えて参りますと若干違った景色がそこにありました。

シカゴクラブに始まり全米に広がったロータリークラブも1914年第一次大戦が始まると同時に大平洋を西に渡りハワイ・マニラ・上海・カルカタを経て日本に上陸しました。1920（大正9年）年、東京ロータリークラブが創立されたことは先刻ご存知の通りであります。チャーターメンバーの選考は極めて厳格で超一流の実業家でしかも語学に堪能な国際人が集められたといわれています。大正時代のこととなりますと尤もの様に思われますが、ともかくもアメリカで生れたロータリーが日本では超一流のエリート集団として花開いた訳であります。（会員名簿東京クラブのところを目を通して頂きますとその片鱗を窺い知ることが出来ます）翻って本場アメリカのロータリーとは一体如何なものであったでございましょうか？ 皆さん既にご存知のことばかりだと思いますが振り返ってみたいと思います。

1905年2月23日（木）地面は鉄のように堅く、川には厚く氷が張り靴音だけが響くシカゴの夜をオーバーの襟を立てた二人の男が“マダムガリ”と

いうイタリアンレストランへと入って行きました。（このレストランは、イタリアの生んだ世紀の名テノール歌手エンリコ・カルーソーの若き日の馴じみの店として今日も知られています）さつぱつとした商業道徳は地におちていたシカゴの街の片すみにあつて、孤独にうちひしがれた男達が淋しく、何とかもって人間らしく温りの中で仲よく暮して行くことは出来ないものであろうか、お互の仕事の利益になるように、そして商売敵になるといけないから同業は避けた方がよい等、スパゲッティを食べながら若き弁護士と石炭屋のおじさんが語り明したというわけであります。孤独なる男は巷にあふれていました、これに印刷屋・鉾山技師・反物屋・不動産屋それにオルガン作りの面々が加わって第3回目の会合が3月23日に開かれています。

几帳面で情熱を内に秘めた青年弁護士のことはさて置き、1905年シカゴR Cの創立時の顔ぶれについて眺めてみることにしましょう。

○シルベスター・シール（石炭商）

口ひげをたくわえ、小肥りの人なつこい男。他人への福祉という点においてこの人をおいて他に居ないとポール・ハリスをいわしめた偉大な人道主義者。

○ガスターバス・ローア（鉾山技師）

シールとは対照的に感情が激しく、嵐を呼ぶ男ともいわれたりもしたが他人に対しては寛大し過ぎるところもあり、友人を助けるのに最後の一セントまで快く与えてしまう個性派人間。

○ハイラム・シヨレイ（洋反物商）

優しく気持のよい社交的な人物で、都合によりロータリーを辞めはしたがロータリーへの思いは強く晩年を彼の故郷で過している。

○ハリー・ラッグルス（印刷業）

苦学をして大学を出て、アルバイトの時に覚えた印刷の技術を生業とした企業人である。一見水の如し冷やかではあるが時間を厳守し、真正直で付

き合っている間に最も親しむべき一人になっている、といった性格でロータリーの仲間という時は幸福そのものであった。クラブのプログラムに歌を採り入れたのも彼であった。また新しい会員を勧誘する名手でもありシカゴRCに入会した最初の200人の $\frac{2}{3}$ は彼の手腕といわれている。

○ウィリアム・ジェンセン（ビル）（不動産業）
常に平静を保ち、如何なる事態に直面してもその沈着さを失うことのない紳士であった。

○アル・ホワイト（オルガン業者）
にこやかな笑顔そしてユーモアあつぷりの人柄健康をそこね不自由の身になってしまったが人々に対しておのれの幸福を主張していた。

○チャールズ・エー・ニュートン（保険業）
弁論少年チャーリー、クラブ創立時代の様子そして経緯を活字に残してくれたのは彼であった。

○Dr Will（歯科医）
歯科医のドック、流行の服に身を固めシカゴ大路を颯爽と愛馬に鞭うって走り回っていた。

○愉快で温和な銀行家のラック・ハウス
○無邪気なキューピット、葬儀屋のバーネー
○大きな声柔和にして人を惹きつける魅力の持主
鋳物屋のフレddieー
○教養に富み親切で責任感の強い紳士、耳鼻咽喉科のDr ホーレー、身障児奉仕の先駆者。

○内科医のDr バックスター
○図書館のために力をつくすといった道楽をもった建築家のポップ
○USスチール初代会長のチャールズ
○コメディアンハリー・ラウダー 等々

この様にして集った初期ロータリアン達仕事上での助け合いも全くないわけではないが、それにもまして総ての会員が得ることの出来た利益というのは友情（友達としての楽しいつき合い）であったといわれています。

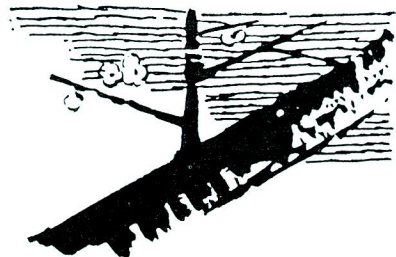
彼等は荒廃したシカゴの街都会生活の砂漠の中にオアシスを発見し占有したのであります。そし

てそこに育ったシカゴ魂 I Will、そしてそこに生れた親睦のエネルギーが集約され、世の為人の為になる奉仕活動へと発展していったわけであり、これから後のことについては小便くさい奉仕活動にあきたらず、決議23-34に推移していった経緯につきましては先日のクラブフォーラムで北砂社会奉仕委員長のお話しに要約されておりますので思い起して頂ければ幸いです。

この様にして1905年のシカゴクラブの職業分類の一端をかいま見て参りますと大変庶民的なのであります。我が大和中RCのものかと間違うくらい身近なものであります、下町的雰囲気ですらあります。そこには熊さん八さんのなつき合いが育った土壌があります。一方ではせっかく日本で花開いた東京ロータリークラブに代表される格調の高さ、その余韻を大切にしていきたいとの願いもなくありません。

ともかくにもロータリーとは、友達として楽しい付き合い（これを難かしく云うと親睦ということになりますが）そこが始まります。それは例会出席だけでは決して手に入るものではありません。特に新しい会員の方々ははじめは一寸した努力と勇気がいるかも知れませんが、求めよさらば与えられます。いろいろなロータリーの集まりがあります、どうぞ積極的に参加して下さい。

最後に、シカゴ魂 I WILL そこにロータリーの原点があることを申し上げて終りとさせていただきます。アリガトウゴザイマシタ



《卓 話》

「年頭にあたり」 会長 藤田 重成君

明けましておめでとうございます。皆様方佳い新年を迎えたこととお見受けします。

ロータリー年度も半分を終えまして、昨年半期の皆様方のご協力に厚くお礼申し上げます、今後共これからの半年間一層強い激励を賜りますようお願いいたします。今年の情勢世の中の景気が大変気になる年で案じられますが、私達にはロータリークラブという強い味方が支えになってくれる年度になりはしないかと思っています。今年度R.I.会長のテーマ「ロータリーは希望をもたらす」は別の意味でも正にその通りであると思います。

クラブのターゲットとして「楽しく集うロータリー」を掲げまして、私達は卒業のないロータリー生活を続けなくてはなりません、1回1回の例会やその他の会合で「ふれあい」を深めています。出会を大切にしてきました。出会いは歴史哲学上厳然たる事実であります。出会わなくて、ロータリーの関りを持つこと、夫婦の縁、今日の社会的立場はあり得ません。心の中で出会を嫌ないで億劫がらずに「出会」を積極的に求め、二度とない人生をよりベターなものにするのが大切と聞かされています。何かと難しい世の中で諸活動に専念出来るように、ストレスを解消する場としてロータリークラブであるような雰囲気でありたいと思います。幸い各委員会におかれましては周到な活動計画により後半期にその集大成か期待されているところです。ロータリークラブは団結はしないが仲良くするとの主旨の中で、親睦のエネルギーは各人の社会改良のエネルギーとなって表われればクラブの活動は達成されるものと思います。自主性を尊重しながらクラブの掟を守ることが大事です。最低限の掟は週一度の例会出席であろうと思いますが、それ以外のことはある程度柔軟性をもってクラブの社交性を保てばよいと私一人思っておりますが……。

「半期報告」 幹事 土屋翁三君

本来なら12月の最終例会日に報告するものですが仕事の都合出席できませんでしたので、本日新年早々より前期報告とさせていただきます。

幹事はクラブ運営の会長方針の潤滑油的な存在であり先ずは事務的な報告を行います。第402回例会より427回例会まで26回例会がもたれました。

今年度は例会数は50回を予定しています。お客様の数は334名で前年対比6名増となっております、同じ木曜日例会の座間中央クラブの誕生を勘案しますとかなり増加していると察します。クラブ協議会は3回、クラブフォーラム4回、理事会10回が開かれました。会員数は入会者2名退会者2名の増減ゼロで50名です。会計報告ですが、大体予定の半分以下となっています。今年度の予算書は半分無理しております、予備費は前年比100万円程少なくなっていますので、出来るだけ出費を抑える方向でやってゆくつもりなのでご協力願います。奉仕会計のスマイル収入は前年比で約12万円程の減となっています、ビジターが増えているのに金額が減ということにどのような因果関係があるのか良く分かりません？例会には一般会員の発言の場がありません、この場は何かと申しますとスマイル報告しかありませんので、歴代会報委員長もスマイルは一字一句載せるように心掛けてますのでどんなさやかな内容でも是非スマイルを頂き奉仕会計にご協力願います。幹事職というものは大変繁忙でございますので出来るだけ休むまいと心掛けています、会長方針のスムーズな運営遂行のためにも事務的な立場で援助し支えるよう心掛けます。

後半は前半と違い大きな行事が控えています。3/14~15の地区大会、4/11のIGF是非今のうちにスケジュール表に組み入れていただきご参加して下さい。後半よろしくご協力を！

(1月8日例会分)